

〈資料1〉

令和5年度

第2回宇治市小中一貫教育推進協議会 資料

令和6年3月4日(月)18時00分～

宇治市役所 8階 大会議室

目 次

1 令和5年度宇治市小中一貫教育の取組について	
(1) 令和5年度小中一貫教育中学校ブロック活動状況	… 1
(2) 令和5年度中学校ブロック毎ジョイントプラン活動総括図	
・宇治中学校ブロック	… 4
・北宇治中学校ブロック	… 5
・槇島中学校ブロック	… 7
・西小倉中学校ブロック	… 8
・西宇治中学校ブロック	… 9
・南宇治中学校ブロック	… 10
・宇治広野学園(広野中学校ブロック)	… 12
・東宇治中学校ブロック	… 13
・木幡中学校ブロック	… 15
・宇治黄檗学園(黄檗中学校ブロック)	… 17
2 令和5年度宇治市小中一貫教育推進協議会の活動報告	… 18
3 令和6年度に向けて	
(1)令和6年度小中一貫教育到達目標(案)	… 19
(2)令和6年度宇治市小中一貫教育推進協議会の活動について(案)	… 21
4 その他	
令和5年度「宇治市小中一貫教育についてのアンケート」について	
(1)令和5年度「宇治市小中一貫教育についてのアンケート」実施概要	… 22

令和5年度 小中一貫教育中学校ブロック活動状況(1)

学校教育課

		◎ ブロック目標 ○ 運営組織体制 □ ラーニングコーディネーター校務分掌 ◇ 教科連携教員教科等	○ 合同研修会・研究会等	○ 体験活動 □ 児童生徒交流活動	○ 家庭・地域と連携した取組	○ 学力診断テスト活用 □ 授業システム ◇ 家庭学習の取組	○ その他 □ 研究指定事業 ◇ 小小連携
1	宇治中B	◎「ふるさと宇治を愛し、みらいを展望し、たくましく生きる児童生徒の育成」 ○ブロック校長会、ブロック教頭会、コーディネーター会議 ○授業づくり部、人権教育部、児童生徒連絡部 □小学校教務主任	○研究テーマ「学力(国語力)向上のための、学級経営と授業の改善」に沿った学習集団作り(学級経営)に焦点を当て、授業改善を行う。 ○小中合同研修会(年4回) 授業研、グループ別交流、協議、講演等 ○児童生徒アンケートの実施(年4回) ○人権教育研修の実施 寛道小での同和問題に係る直接学習の参観	○宇治中学校体験入学の実施 ・生徒会による小学6年生への学校説明 ・中学校授業体験・部活動見学 □生徒会による中学校紹介○×クイズ	○小中一貫教育校だより(FUTT)を発行・HP掲載 分散進学となる神明小の記事も掲載	○全国学力・学習状況調査、学びのパスポートの分析・活用研修 □宇治市「アクションプラン」において「学力(国語力)向上のための、学級経営と授業の改善」に沿った学習集団作り(学級経営)に焦点を当て、授業改善を実施	○児童生徒アンケートの実施(年4回) ○中学校の定期テストについて小6児童対象に不安解消の取組
2	北宇治中B	◎「学力の向上を目指し、多角的に小中の連携を進める」 ○3校校長連絡会、企画会議(校長、教頭、コーディネーター)、コーディネーター会議 ○学力充実係、生徒指導係、特別活動係、教育相談係、特別支援教育係、情報教育係 □中学校教務主任	○小中一貫教育総会の実施(年2回) ○6つの各係会で実践交流・総括を実施 ○小学校教員による中学校の授業参観の実施	○北宇治中学校半日体験入学の実施 ・生徒会による説明・部活動体験	○学校だより・HPでの取組発信 ○「家庭学習の手引き」を配付し家庭学習の定着を図る	○全国学力・学習状況調査の分析・実態把握 学力向上取組実践の交流と連携 ◇「家庭学習の手引き」を発行し、有効利用	○中学入学前の「春休みの宿題」を発行 □体育指導力向上指定校(北宇治中)
3	槇島中B	◎「豊かな人間性と未来を創造する子どもの育成」 ○「夢・未来」会議(校長、教頭、教務主任(コーディネーター)ブロックの校長会議、教頭会議、コーディネーター会議 ○学力分析部、国語部、ICT推進部、特別支援教育部、生徒指導部、特別活動部 □中学校教務主任	○合同研修会の実施(年5回) ①中学校授業参観 ②小学校授業参観① 全体会(今年度の方針・学力向上プラン確認)・各部会 ③「言語活動の充実を目指した授業改善」について講師を招いた研修・各校学力分析・課題の交流・各部会 ④小学校授業参観② インクルーシブ教育についての研修・各部会 ⑤全体会、各部会(学テ分析・課題の交流)	○小学6年中学校体験の実施 □服のカプロジェクトの実施(古着回収の取組) □小中絵画巡回展	○小中一貫教育便り「マキシム」の発行・HP掲載	○学力向上に向けた課題解決への取組や授業改善への協議・交流	○ラーニングコーディネーターによる小学6年生への出前講座 ○教職員広報の発行 小中一貫教育推進に関わる情報の共有 ○コーディネーター会議の開催 ○「夢・未来」会議の開催 □宇治市多様な学びの場創造事業モデル校3校
4	西小倉中B	◎「小中9年間を通して 地域と共に子ども達の豊かな心と確かな学力を育む」 ○西小倉中ブロック小中一貫教育推進委員会【小中一貫校開校に向けて】 校長部会、教頭部会、教務部会、特別支援教育部会、養護教諭部会 ○学力部会、交流部会(児童会・生徒会・生徒指導) ■中学校生徒指導主任 ◇【府:音楽】	○第1回合同研修会の実施(リモート) ・小中一貫教育ブロック方針の確認 ・各学校の紹介と方針の確認 ○夏季合同研修会の実施 ・各学校の目標設定シート」の共有、学力分析 ・「9年間の育成期間でどういった成長機会を提供できるのか〜同僚性を高めてチーム学校として教育効果を高めるために〜」をテーマについて講師を招いた講演 ○合同授業研の実施 ・小学校授業参観・事後研究会	小6年体験入学の実施 ・授業体験・部活動体験	○地域懇談会の実施 ○小中一貫教育広報誌の発行(学期1回) ○生徒指導通信の共有 ○「学校だより」やHPで発信	○学力向上に向けて、学力分析・授業改善 □「学習への動機づけ」	○ラーニングコーディネーターによる小学6年生への出前講座の実施(学期1回) ・中学校生活概要・学習面・生徒指導面(ルール)について
5	西宇治中B	○NIS目標「自立への学びと社会性の育成を推進し心豊かでたくましい人間を育てる」 ○小中一貫教育推進会議 ブロック校長会、ブロック教頭会、コーディネーター会 ○領域3部会(学力充実、生徒指導、特別支援・教育相談) ■小学校教務主任 ◇【市:社会】	○領域3部会の実施(年3回) ○夏季小中合同研修会の実施 領域3部会:テーマに沿って話し合い、各校の様子や課題、取組について交流 教科部会:13の教科部会に分かれ1学期の授業の様子や評価について交流 ○合同研究授業(小学校) 「自ら課題を考え、探求できる児童の育成」を目指した授業 ※計画したが学級閉鎖等の状況で中止	○小6中学校体験の実施 ・部活動体験の実施 ○小6「中学校の学習」説明会の実施 □「朝のあいさつ運動」	○HP・各校掲示板で小中一貫教育の啓発、地域への発信 ○「学習の手引き」の配付 ○「朝のあいさつ運動」	□学力向上に向けて、ICTを活用した授業改善 ◇「学習の手引き」の配付	○「春休みの宿題」を作成実施

令和5年度 小中一貫教育中学校ブロック活動状況(2)

学校教育課

		◎ ブロック目標 ○ 運営組織体制 □ ラーニングコーディネーター校務分掌 ◇ 教科連携教員教科等	○ 合同研修会・研究会等	○ 体験活動 □ 児童生徒交流活動	○ 家庭・地域と連携した取組	○ 学力診断テスト活用 □ 授業システム ◇ 家庭学習の取組	○ その他 □ 研究指定事業 ◇ 小小連携
6	南 宇 治 中 B	◎「夢や希望を持ち、未来をたくましく生きぬく児童生徒の育成」 ○小中一貫教育推進委員会 校長、教頭、教務主任(コーディネーター) ○コーディネーター会 まなび部・つながり部・りかい部 □小学校教務主任 ◆【府:理科】	○小中一貫教育合同会議及び3部会の実施(年4回) 今年度の方向性・方針や課題について確認 ○夏季合同研修会の実施 府学調(学びのパスポート)の結果分析・課題の交流・共通理解 ○宇治学の発表交流 ○小中授業参観 (西大久保小・南宇治中で実施) ※あわせて3部会を実施	○小6中学校体験入学の実施 ・授業体験と部活動体験 ○帰国児童理解教育 □児童会生徒会合同会議 □生徒会・児童会合同でのあいさつ運動の実施 □中文筆の体験(小2) □清掃ボランティア活動	○学校だより・HPでの取組発信 ○あいさつ運動・ボランティア活動への参加啓発 ○「家庭学習の手引き」を配付	○学力調査の結果分析・授業改善 ・読む力・書く力の育成(3校共通の取組) ・自己調整力や見通しを持った学習者を育てるための手帳の活用についての交流 □基礎基本を大切に短時間学習の有効活用についての交流 ◇「家庭学習の手引き」の見直し	○新中1の「春休みの課題」作成 ○3校コーディネーターでの各校への授業参観の実施 ◇帰国児童理解学習 (西大久保小) ※平盛小日本語教室より
7	広 野 中 B	◎「夢や希望を持って未来を切り拓ける児童生徒の育成」 ○学校運営部会(ブロック校長会)、教頭部会、事務局部会(コーディネーター部会)、学力部会、児童生徒理解部会、児童生徒交流部会、小小学年部会、(その他の部会) □小学校教務主任 ◇【府:音楽(小)】	○宇治ひろの学園総会の実施 ・小中一貫教育の取組周知 ○夏季合同研修会の実施 ・3校協働研究の趣旨・研究テーマの確認 ・非認知能力についての研修 ○2小学校の小小連携の実施(各学年) ・授業研究の交流と授業交流	○小6中学校体験入学の実施 ・生徒会による学校説明 ・小小交流 授業体験 □HOT-MEETING (3校合同児童生徒会)の実施 □福島ひまわり里親プロジェクト □中学生による小学生への紙芝居の読み聞かせ □巡回作品展	○保護者向けの巡回作品展の実施 ○あいさつ運動の実施 ○HOOP(小中一貫だより)発行・HP掲載 ○「家庭学習の手引き」の配付 ○長期休業中の「生活のきまり」について交流	○学力向上に向けて、学力分析・授業改善 □「伝え合う力の育成」をテーマに、非認知能力育成の取組を実践 □研究上表の3校相互交流 ◇「家庭学習の手引き」 ◇小6春休みの家庭学習用課題作成	○小小連携や交流の充実 (高学年音楽科での授業・定期的な情報交流) □新たな学力分析の在り方に係る調査研究(広野中ブロック) □地域・企業と連携したPISA型読解力育成事業指定校(広野中)
8	東 宇 治 中 B	◎「命がかがやく人間」 ○ブロック運営委員会 ブロック校長会議、ブロック教頭会議、コーディネーター会議 ○専門部会 学力充実推進委員会、生徒指導部会、特別支援・教育相談部会 □小学校教務主任 ◇【府:英語】	○小中合同研修会の実施(年3回) ・合同研究授業に関わる研修 ・「非認知能力の向上」について研修 ・専門部会 ○夏季研修会の実施 ・授業改善や非認知能力の育成のため、生活状況調査に焦点化した分析・共通認識 ○相互授業参観 ○各校の学校だよりを教職員に配付 ○小中連絡会の実施(年3回)	○小6中学校体験入学の実施 ○中2小学校での職場体験実施 □花植ボランティアによるプランター贈呈 □中学生の美術作品巡回展示	○小中一貫教育だよりの発行 ○「家庭学習の手引き」の配付 ○各校の学校便りで取組の発信 ○各校小中一貫教育コーナー(掲示板)の設置	○学力向上に向けて、「非認知能力」に焦点を当てた学力分析・学力課題の共有 □授業スタンダードの積極的な活用 □「非認知能力」を働かせることのできる発問や仕掛け ◇「家庭学習の手引き(保存版)」の配付	○定期テスト対策(小学6年)実施 ○中学校からスクールライフサポートブックを小学6年に配付 ○先スタ(中学入学前の学習)を小学6年に配付 ○小6へ中学校学校だより配付
9	木 幡 中 B	◎「故郷(ふるさと)で夢や希望をはぐくみ、未来を切り拓く児童生徒」 ○ブロック校長会、ブロック教頭会、一貫教育推進委員会 ○連絡会(学力充実・いしずえ、児童生徒理解、健康安全) ○教科部会(8部会) □中学校教務主任 ◇【府:家庭(小)】	○小中合同研修会の実施(年3回) ・夏季小中合同研修会では、特別支援教育をテーマとした講演会実施 ・「アクションプラン・セカンドステージ」「やましろ授業スタンダード」への理解浸透と意識向上 ・教科部会で 授業参観後、実践交流 連絡会で現状や実践の交流	○小6中学校半日体験入学実施	○中学校の「学校だより」「生活だより」を6年生に配布 ○各校の学校だよりの校内掲示 ○「家庭学習の手引き」配付 ○小中一貫教育だよりは発行、取組をHPに掲載 ○小学校懇談会で「中学校における進路指導」説明会を実施 ○新入生保護者説明会の実施	○「やましろ授業スタンダード」「効果のある宇治市方式を進めるアクションプラン」に基づいた、学力向上のための主体的・対話的な授業づくり ◇「家庭学習の手引き」	○6年生卒業後の春休み宿題(国語・算数・英語) ◇三校交流(小小連携)の実施 木幡小・笠取小・笠取第二小 御蔵山小・笠取小・笠取第二小
10	黄 檜 中 B	◎「たかく、すずしく、たくましく」 ○小中一体の組織を構成 □小学校教務主任	○各教科・領域の学びをつなげる課題解決型学習の実施・研究 ・課題解決型学習の推進を目指した研究部を組織し、小中で課題解決型学習推進 ○小中合同夏季研修会の実施 ○小中連絡会の開催	○黄檗ウォーカー(1,9年生) ○OBAKUミーツィング(6,7年生) ○縦割班活動(1~6年生)など異学年集団活動 □学園会選挙開催	○地域学校協働活動推進員(CSコーディネーター)との連携・活用 ○各教科、部活動での学校ボランティアの活用 ○HPを活用して取組の発信 ○親のための進路説明会の開催	○学力調査の結果分析、授業改善 ○中学校でのテスト実施状況や課題点を調査分析 □各教科・領域の学びをつなげる 課題解決型学習の実施 □認知能力と非認知能力を一体的に育成するための主体的・協働的に探究する活動	□課題解決型学習に小中で取り組む(京都府「絆の作り手育成プログラム」研究校(宇治小))

令和5年度

中学校ブロック毎 ジョイントプラン

活動総括図



宇治市教育の日シンボルキャラクター：ハチャ君

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1 宇治中学校ブロック | 6 南宇治中学校ブロック |
| 2 北宇治中学校ブロック | 7 広野中学校ブロック |
| 3 槇島中学校ブロック | 8 東宇治中学校ブロック |
| 4 西小倉中学校ブロック | 9 木幡中学校ブロック |
| 5 西宇治中学校ブロック | 10 黄檗中学校ブロック（施設一体型） |

令和6年3月

宇治市教育委員会

令和5年度 宇治中学校ブロックジョイントプラン 活動総括図

ー宇治中・菟道小・菟道第二小ー

教育目標・めざす子ども像

○ふるさと宇治を愛し、みらいを展望し、たくましく生きる児童生徒の育成

めざすこども像

- ・ともに学び、考える児童生徒
- ・たくましく生きる児童生徒
- ・笑顔を大切にする児童生徒

本年度の目標・推進の方向性

- 小中9年間の一貫した学習指導・生徒指導を行い、「生きる力」の柱となる児童生徒の「確かな学力」を育む。
- 児童生徒が人権尊重の理念を正しく理解するとともに、思いやりの心を持って行動できる児童生徒の育成を図る。
- 小中学校教員による合同研究を通して、小中一貫教育を意識した授業実践力・人権意識の向上を図る。

本年度の取組（実施内容を見直した取組を含む）

研究テーマ「学力（国語力）向上のための、学級経営と授業の改善」に沿った学習集団づくり（学級経営）に焦点を当て、授業改善を行う。実態把握・方針・実践・検証

- ◇小中合同研修会 年4回開催（授業研、グループ別交流、協議、講演等）
- ◇アンケートの実施（6月、7月、10月、2月）
- ◇アンケート結果を踏まえた取組・授業改善
- ◇研究テーマに沿った視点での授業づくり

本年度取り組むことができなかった計画について（箇条書き可）

- ・児童生徒交流の取組（クラブフェスティバル、鼓隊クラブ・吹奏楽部合同練習）

本年度の成果と課題

- ・アンケート結果の比較により、児童生徒の意識が改善した。
 - ➡3回実施したアンケート結果の比較「そう思う」回答の増加。
- ・様々な教員の働きかけにより、学力向上につながる土台づくりができた。
 - ➡〈同じ視点での取組〉研修会で交流、協議で得た他の実践と比較、参考にできること、違った視点、アプローチの気づき、高めるための意見等を取組に活かす。
- ・学力へのつながりを検証していく。
 - ➡全国学調、日々の評価、学期末の評価、学びに対する児童生徒の姿を見ていく。
- ・教員の意識改革は、今後必要である。
 - ➡課題提起により、方向性が明確化。意識の個差、さらなる高め合いが必要。

次年度に向けて

- ◇引き続き学習集団づくり（学級経営）に焦点を当て、児童生徒の学びへの満足感・充実感・安心感を向上させることを目指して授業改善を進める。
- ◇児童生徒同士、児童生徒と教員とのつながりを意識的に深めていくことで、授業に対する意識や学習に向かう姿勢を向上させ、学力向上につなげる。
- ◇アンケート、学びのパスポート（非認知能力「心理的安定性」）、全国学調質問紙等の回答で検証する。

令和5年度 北宇治中学校ブロックジョイントプラン 活動総括図

ー北宇治中・小倉小・北小倉小ー

教育目標・めざす子ども像

教育目標「学力の向上を目指し、多角的に小中の連携を進める」

(めざす子ども像)

- ・自ら考え、自発的に表現できる子（知）
- ・人と地域とのつながりの中で豊かな心を育て、他を大切にする子（徳）
- ・運動に親しむことにより、楽しく生活できる子（体）

本年度の目標・推進の方向性

(1)小中学校の教員が連携して学力の向上を図る。

- ・学力向上のための方策を研究する（小中一貫の視点から、具体的方策を探り実践していく）

(2)学力部を中心に、小中一貫教育を推進する組織力を向上させる。

(3)保護者や地域住民などに、積極的に小中一貫教育の取組や成果等を発信する。

本年度の取組（実施内容を見直した取組を含む）

☆9年間を見通した子どもの育ちと学びのつながりに関わって

生徒指導係、学力充実係、特別活動係、教育相談係、特別支援教育係、情報教育係に分かれ、9年間を見通した系統的な子どもの成長を育んでいく。

☆連続性のある子ども理解と生徒指導に関わって

- ・対象児童・生徒に対する有効な方策やアプローチ方法を示していく。
- ・小学校、中学校それぞれの児童・生徒の実態交流をより細かく行い、一貫して連携を図っていく。

☆指導や支援に磨きがかかる教職員の連携と協働に関わって

- ・各校の実態や実践の交流を中心に連携を行い、その成果を生かし、小中一貫教育における「学力の向上」につなげていく。
- ・コーディネーター会議等を必要に応じて開き、調整する。
- ・ICT機器などの活用も検討しながら、小中一貫教育の推進を模索していく

本年度取り組むことができなかった計画について（箇条書き可）

☆家庭・学校・地域でつくる育ちの輪に関わって

- ・小中一貫教育ニュースの発行
- ・家庭学習の取組の共有

本年度の成果と課題

【成果】

- ・毎月のブロック校長会において各校の交流が行われた。
- ・行事や取組等において、各校コーディネーター間の打ち合わせや連携が行えた。
- ・小中一貫教育総会が2回のみになったが、授業参観や学力部各係会における交流や総括が実施できた。
- ・係会を再編し、各校の学力分析や学力向上における実践交流、ICT機器の有効的な活用方法など小中の連携が図れた。
- ・児童会と生徒会でタブレットを用いた交流が行えた。
- ・小学校から中学校の授業参観が行えた。

【課題】

- ・日程を調整し、合同研修の機会を設けたい。
- ・日程が合わず、中学校から小学校の授業参観が行えなかった。
- ・小中一貫教育における有効的な活用法や実践を、さらに探求していく必要がある。

次年度に向けて

新型コロナ蔓延により中断を余儀なくされた間に教職員の異動が多くあり、今年度は新たな小中一貫の取組を構築していくための地固めの1年として位置付けたので、今年度、各係会を中心とした交流を深めて、小中一貫教育の取組をさらにブラッシュアップし、サステナブルな取組にしていくとともに、児童・生徒の更なる学力の向上につなげていきたい。

学力の充実・向上に向けては、どのような各校でどのような家庭学習を行っているか。タブレットの使用頻度や方法などの共有を図っていきたい。

令和5年度 榎島中学校ブロックジョイントプラン 活動総括図

—榎島中・榎島小・北榎島小—

教育目標・めざす子ども像

ブロック小中一貫教育目標

「豊かな人間性と未来を創造する子どもの育成」

めざす子ども像

- 心身共に健康で、明るく活動する子
- 意欲的に学び、深く考え、豊かに表現する子
- 地域でつながり、共に支え合い、高め合う子

本年度の目標・推進の方向性

【目標】

「榎島中ブロックの児童・生徒たちの共通課題の克服を通して「読み取る力」「書き表す力」の向上を目指す」

【推進の概要】

榎島中ブロック全体で児童・生徒の学力向上における様々な課題解決を図るため、各校の実践交流や協議を通して授業改善を行い、児童・生徒の学力向上、特に国語の力の向上に努める。

本年度の取組（実施内容を見直した取組を含む）

◎合同研修会の運営

- ・第1回...中学校授業参観
- ・第2回...榎島小学校授業参観・全体会（今年度の方針、学力向上プランの確認、各部会①）
- ・第3回...鵜飼洋子氏を講師に招いて言語活動の充実を目指した授業改善についての研修
各校学力分析・課題の交流・各部会②
- ・第4回...北榎島小学校授業参観・インクルーシブ教育についての研修・各部会③
- ・第5回...全体会・各部会④（学力テストの分析・課題の交流）

◎ラーニングコーディネーターによる取り組み

- ・小学校外国語授業の参観 ・各校 CN との打ち合わせ ・教職員広報の発行
- ・小中一貫だより「マキシマム」をそれぞれ発行 ・CN 会議の定期的開催 ・小6 出前授業

【その他の取組について】

◎小中絵画巡回展（11月～1月） ◎服のチカラプロジェクト（9～11月）

◎小学6年生中学校体験

本年度取り組むことができなかった計画について（箇条書き可）

特になし

本年度の成果と課題

- ・学力向上に向けて、小中の教員がブロックの児童生徒における課題解決や授業改善に向けて前向きに交流・協議を行うことができた。
- ・CN間で定期的に会議を持ち、連携を取りながら、小中一貫教育の取組を実施することができた。
- ・服のチカラプロジェクトや小学6年生中学校体験、絵画巡回展を実施しブロックとして共通した取組を進めることができた。
- ・ブロックとして今後推進していくべきインクルーシブ教育についての研修を小中合同で行うことができ、その理念について共有することができた。
- ・夏季研修会において、鵜飼洋子氏を講師に招いて言語活動の充実を目指した授業改善についての研修を行い、ブロックの共通課題を克服するための方策を学ぶことができた。

次年度に向けて

- ・基礎学力の充実に向けて、言語活動の充実を目指した授業改善を行い、国語力の向上を継続得 t 気に図っていく。
- ・インクルーシブ教育推進に向けての方向性を検討し、研究を進めていく必要がある。

令和5年度 西小倉中学校ブロックジョイントプラン 活動総括図

ー西小倉中・西小倉小・南小倉小ー

教育目標・めざす子ども像

小中9年間を通して 地域と共に 子ども達の 豊かな心と 確かな学力を育む

- ・自分の考えを 豊かな表現力で伝え合う子
- ・地域とつながり 思いやりの心を大切にする子
- ・健康に気をつけ 自らの目標に向かってがんばる子

本年度の目標・推進の方向性

【重点目標】

「主体的・対話的で深い学び」の実現による確かな学力の育成

【推進の概要】

- ①コーチングの視点からの授業改善
- ②ICT 機器や学習支援ソフトの活用による個別最適な学びの実現
- ③コーチングや学力調査をテーマとする教員研修
- ④9年間を見通した系統的・継続的指導の充実

本年度の取組（実施内容を見直した取組を含む）

- ・第1回合同研修会（リモート）
研修内容 ①小中一貫教育ブロック方針の確認 ②各学校の紹介と方針の確認
- ・第2回夏季合同研修会を実施
研修内容①各学校の目標設定シートの共有、学力分析 ②「9年間の育成期間でどういった成長機会を提供できるのか～同僚性を高めてチーム学校として教育効果を高めるために～」をテーマに講演
- ・合同授業研究会
西小倉小学校の授業参観、事後研究会「児童・生徒の主体性を育むために」
- ・ラーニングコーディネーターによる出前講座を実施（小6対象学期に1回）
①中学校生活概要 ②学習面について ③生徒指導面（ルール）について
- ・小6体験入学
①授業体験②部活動体験
- ・広報誌発行（学期に1回）
- ・地域懇談会
- ・生徒指導通信の共有

本年度取り組むことができなかった計画について（箇条書き可）

- ・計画したものは、概ね実施できた。

本年度の成果と課題

- 成果**
- ・夏季研修会や授業研究会では、対面方式で教職員が話をすることができ、教職員のつながりを深めることができた。
 - ・学期に1回のラーニングコーディネーターによる出前講座（小6向け）を実施し、小中双方にとって効果を感じた。

課題

- ・小中一貫校の開校に向けて、小中での教職員のつながりを深め、合意形成をする力をさらに高める。
- ・小中の各部での取組を情報共有し、9年間を見通した系統的、継続的な指導につなげる。

次年度に向けて

- ・小中一貫校開校に向けた組織改革。
- ・小中の教職員のつながりをさらに深める。
- ・学力分析と児童・生徒の主体性を高める取組。
- ・「学習動機付け」など共通のアクションプランを立て、実行する。

令和5年度 西宇治中学校ブロックジョイントプラン 活動総括図

ー西宇治中・伊勢田小・神明小ー

教育目標・めざす子ども像

小中一貫教育目標「自立への学びと社会性の育成を推進し心豊かでたくましい人間を育てる」

めざす子ども像

- 知「展望する力」：深く考え、よく聴き、意欲的に表現する子
- 徳「つながる力」：温かい心で助け合う子、節度をもった礼儀ある子、違いを認め合える子
- 体「挑戦する力」：ねばり強く諦めない子、基本的生活習慣や健康を配慮できる子

本年度の目標・推進の方向性

主体的・対話的で深い学び、及び進路を見据えた学力向上の取組

- (1) 「効果のある宇治市方式を進めるアクションプラン」に基づいた合同研修会及び各教科部会の充実と発展、公開授業研究会の実施
- (2) 領域3部会機能の活性化
- (3) 小小連携の充実（中学校進学に向け、共通組織による実態改善）
- (4) 相互連携授業の充実

本年度の取組（実施内容を見直した取組を含む）

- (1) 9年間を見通した子どもの育ちと学びのつながりに関わって
 - ・夏期研修会では、領域3部会、教科部会の中で、テーマに沿って話し合い、各校の様子や課題、取組などを交流した。
 - ・小中学校において、統一した「学習の手引き」を入学時等に配付し、学習内容や学習方法、家庭学習の習慣化等の家庭への理解を求めた。
- (2) 連続性のある子ども理解と生徒指導に関わって
 - ・小中合同研修会の実施にあたり、ブロック推進会議やコーディネーター会議等で事前の打ち合わせを行い、研修内容や組織体制についての検討をし、研修内容の充実を図った。
 - ・生徒指導部会・特別支援部会・学力部会を年に3回実施し、児童生徒理解に努め、情報を共有することで、指導に活かした。
- (3) 指導や支援に磨きがかかる教職員の連携と協働に関わって
 - ・小6の中学校体験では、部活動体験を行い、6年生が中学校の雰囲気を感じ取ることができた。
 - ・朝のあいさつ運動を各学期で実施し、児童会・生徒会相互の交流を深めた。
 - ・6年生を対象に学習説明会を実施し、中学校入学後に滞ることなく学習を進められるようにした。
 - ・春休みの宿題を、ブロックで統一したものを作成した。
- (4) 家庭・学校・地域でつくる育ちの輪に関わって
 - ・各校の学校通信やホームページ等により、合同研修会や小中連携の取組を家庭や地域に発信した。

本年度取り組むことができなかった計画について（箇条書き可）

- ・学級閉鎖のため、伊勢田小学校で予定していた研究授業を行うことができなかった。

本年度の成果と課題

- ・夏季研修会では、コロナ禍では実施できなかった教科部会を開くことができた。各教科の指導方法や評価の方法について交流をし、小中の系統を意識した指導につなげることができた。
- ・学級閉鎖に伴い、当初予定の回数より合同研修の機会が減った。そのため生徒指導や学力充実についての教員間での交流が制限され、ブロック内での組織体制や小中連携の大切さを再確認した。

次年度に向けて

- ・学習や生徒指導において、小中間で共通認識のもと指導を行えるように、各教科・領域部会で指導方法等を確認していく。
- ・家庭、地域に対して「目に見える取組」をさらに展開していく。

令和5年度 南宇治中学校ブロックジョイントプラン 活動総括図
ー南宇治中・平盛小・西大久保小ー

教育目標・めざす子ども像

「夢や希望を持ち、未来をたくましく生きぬく児童生徒の育成」

本年度の目標・推進の方向性

「主体的に学び・活動できる児童・生徒の育成 ～三校のつながりを意識して～」

本年度の取組（実施内容を見直した取組を含む）

- ☆9年間を見通した子どもの育ちと学びのつながりに関わって
 - ・読む力・書く力の育成（3校共通の取組に向けて）
 - ・基礎基本を大切にした短時間学習の有効的な活用の仕方の交流
- ☆連続性のある子ども理解と生徒指導に関わって
 - ・清掃ボランティア
 - ・児童会、生徒会交流
 - ・あいさつ運動
 - ・部活動体験
 - ・中文拳体験、帰国児童理解教育
- ☆指導や支援に磨きがかかる教職員の連携と協働に関わって
 - ・学習に参加しやすい支援の共通理解
 - ・宇治学の発表交流
- ☆家庭・学校・地域でつくる育ちの輪に関わって
 - ・清掃ボランティアやあいさつ運動への保護者・地域の連携
 - ・学校だよりや学校HPでの広報
- ☆推進体制の充実と改善（ラーニングコーディネーターの主な計画内容を記載）
 - ・毎月のコーディネーター会の開催（コーディネーター会場を3校持ち回りにし、コーディネーター3人での授業参観）

本年度取り組むことができなかった計画について（箇条書き可）

- ・ **宇治学の交流**
- ・ **清掃ボランティアやあいさつ運動への保護者・地域の連携**

本年度の成果と課題

- ☆成果

昨年度の反省を踏まえ、今年度は3部会の内容等を一部見直したり、昨年度よりもさらに児童生徒、教職員が様々な面で繋がれるよう計画を見直したりしたことで、今年度の目標を一定達成することができた。
- ★課題

3部会については昨年度よりも各部で必要な交流ができたが、外国にルーツを持つ児童や、個別に支援が必要な児童に対しての支援体制については、より3校の教職員で連携を深めて支援体制を強化していく必要があるなど課題が見えた。

また、各校の実態が違う中で、学力向上に向けての共通の取組等は十分にできていない現状がある。今年度実施した学びのパスポートの分析などを継続的に行い、非認知能力の向上も含めた学力向上の方向性や具体的な方策について検討していく必要がある。

次年度に向けて

今年度実施した３校の教職員へのアンケート結果から、教育目標やめざす子ども像、本年度の目標・推進の方向性については、次年度も継続していく必要があると考える。３部会においては、今年度交流した中で出てきた上記の課題について、改善し実践を進められるようにしたい。

令和5年度 広野中学校ブロックジョイントプラン 活動総括図
ー広野中・大久保小・大開小ー

教育目標・めざす子ども像

<教育目標>

夢や希望を持って未来を切り拓ける児童生徒の育成

<9年間で育てたい力（めざす児童生徒像）>

自ら学び考える力 豊かな人間関係を築ける力

健やかな体で粘り強くやり抜く力 自分の生き方を求めている力

本年度の目標・推進の方向性

【目標】

- ・「学びの意欲を高める」積極的に学びに向かう力（非認知能力）の育成を目指す。

【推進の方向性】

- ・「学びの意欲を高める」をテーマに、3部会で話し合い、非認知能力の育成を視野に入れた学習環境づくりを各校の目標や実態に合わせて実践する。
- ・基礎学力定着のための補充学習を継続する。
- ・実践内容と結果をブロックで交流・協議し、学園全体としての意識向上につなげる。

本年度の取組（実施内容を見直した取組を含む）

☆9年間を見通した子どもの育ちと学びのつながりに関わって 《基礎学力の定着》 ・学園児童生徒の学力向上を目指した各部会の組織的な活動 ・問題解決的学習の資質・能力を育成する「宇治学」の充実 ・共通課題の作成	☆連続性のある子ども理解と生徒指導に関わって 《学びの基盤の醸成》 ・3校の生徒指導の交流 (問題事象の交流や傾向の分析など) ・長期休業中の生活のきまりについて交流 ・HOT-MEETING(3校合同児童生徒会)の実施 ・福島ひまわりプロジェクトの実施 ・小6の中学校体験学習での小小交流事業 ・中学1年生による小学校1年生への紙芝居読み聞かせ
☆指導や支援に磨きがかかる教職員の連携と協働に関わって 《教職員の資質向上》 ・総会の実施による小中一貫教育の取組周知 ・3校での夏季合同研修の実施 ・小小連携の計画及び実施(授業研の交流と授業での交流)	☆家庭・学校・地域でつくる育ちの輪に関わって 《学びの場の拡大》 ・HOOP(宇治ひろの学園小中一貫教育だより)の保護者への配付 ・各校の学校だよりでの紹介やホームページの活用 ・3校巡回作品展示の保護者向け公開 ・小6の中学校体験学習の保護者参観

本年度取り組むことができなかった計画について（箇条書き可）

- ・部活動体験・地域懇談会

本年度の成果と課題

コロナ禍で中止になっていた体験や交流について、工夫と精選をしながら実施することができた。小小交流会や6体験授業・保護者授業参観も充実させて実施できたことはよかったが、HOT-MEETING・福島ひまわりプロジェクト・あいさつ運動・紙芝居・作品交流も目的を再認識しながら、発展的に取り組めた。

「学びの意欲を高める」積極的に学びに向かう力（非認知能力）の育成を目指す。を重点として、夏季研修会で深め、各校の研究会の交流で広めることができた。

次年度に向けて

3部の活動を計画的に効率よく行い、各校での研究実践を共有化し、効果的に一貫校である強みをさらに生かしていきたい。コロナ禍での中断で交流等が滞り、再度実現することも難しさを感じる一年であったが、今年の取組みを生かし、さらに推進する。

ラーニングコーディネーターを中心とした連絡調整を充実させていく。

令和5年度 東宇治中学校ブロックジョイントプラン 活動総括図
ー東宇治中・三室戸小・南部小・岡屋小ー

教育目標・めざす子ども像

教育目標「命を輝かす人間」

めざす児童・生徒像 「自ら学び学習する児童・生徒」 「思いやりのある児童・生徒」

「たくましく生きる児童・生徒」 「健康や安全を考える児童・生徒」

本年度の目標・推進の方向性

【目標】

これまでの小中連携・小中一貫教育の成果と課題を踏まえた取組を推進しながら、小中一貫教育の基本である「義務教育9年間で、生きて働く学力や生きる力を身に付けさせるための系統的・統一的な指導を実現する」という視点で、日々の指導の充実を図りながら、取組の点検・評価・改善を図る。

【推進の概要】

本ブロックの児童生徒の実態や教育の方向性・動向を踏まえた取組の工夫・改善を積極的に進める。その取組の一つとして、宇治市の「効果のある宇治市方式を進めるアクションプラン」の指標について、ブロックとしての分析を行い、本ブロック児童生徒の課題である「ことばの力」「主体的な学習態度」「対話的な深い学び」の充実と関連させた具体的な取組を推進する。

また、非認知能力を育む基礎となる幼稚園と小学校の接続をより良くするための研究を進めるとともに、非認知能力の向上に向けた授業研究を進める。

本年度の取組（実施内容を見直した取組を含む）

＜教職員研修＞

○小中合同研修会(6/14・8/22・11/15) ○小中合同研究授業(11/15 会場:南部小)

○相互授業参観 ○4校学校便りを教職員へ配布

○東宇治中ブロック児童生徒の学力分析

＜児童・生徒交流＞

○小学6年生の中学校体験入学(11/8) ○中学生の美術作品巡回展示(3学期)

○花植ボランティアによるプランター贈呈 ○中学2年生の小学校での職場体験(2学期)

＜家庭・地域との連携＞

○小中一貫教育便りの発行 ○「家庭学習の手引き」の配布

○小中一貫教育コーナー(掲示板)の設置

＜小中スムーズな接続のために＞

○スクールライフサポートブック配布(小学6年) ○先スタ(中学入学前の学習)の配布(小学6年)

○小学6年生の中学校体験入学(11/8) ○小中連携教員による外国語活動指導(小学6年)

○東宇治中入学保護者説明会(11/30) ○小中連絡会(5/22・12月・2月)

○中学校学校便りを小学6年生に配布 ○授業スタンダードの積極的活用

○定期テスト対策(小学6年) ○中学校入学に向けての講話(小学6年)

本年度取り組むことができなかった計画について（簡条書き可）

○教職員広報の発行 ○児童会・生徒会協同の取組 ○地域行事での交流

本年度の成果と課題

<成果>

- 非認知能力の向上に向けて、夏季研修会や小中合同授業研究をコーディネーターが中心となって、実施することができた。
- ブロックの小・中学校の授業改善や児童生徒の非認知能力の育成のため、特に夏季研修会で、生活状況調査に焦点を当てた分析を行い、共通の認識を持つことができた。
- 定期テスト対策(小6)による小中の接続強化ができた。
- 家庭学習の手引き・スクールライフサポートブックによる家庭学習習慣・生活習慣の向上を図ることができた。
- 第1回の小中合同研修会で専門部会を開き、児童生徒の実態把握、特別支援教育、生徒指導の交流ができ、ブロックとしての方向性を確認することができた。

<課題>

- 本ブロック児童生徒の学力課題や学力の基盤となる生活課題に迫る、家庭・地域と連携した取組を十分に行うことができなかった。
- 各校のアクションプランと連動させた学力の充実・向上の取組については、各校での研究にとどまった。

次年度に向けて

- 今年度は、新型コロナウイルスが5類に移行しコロナ禍以前の計画を確認し精査しながら、ブロック校長会・コーディネーター会議を中心に取組を推進してきた。次年度は、教職員にとって負担なく効果的な研修会の設定を意識して取り組んでいく。
- ラーニングコーディネーターや各校コーディネーターとの連携のもと、アクションプランの目標達成に向けた組織作りと実践を行っていく。
- 小学校と連携する就学前施設が確定し、幼小連携が本格化するため、幼小連携の成果をどのように中学校へ繋いでいくかを模索していく。

令和5年度 木幡中学校ブロックジョイントプラン 活動総括図
ー木幡中・御蔵山小・木幡小・笠取小・笠取第二小ー

教育目標・めざす子ども像

教育目標 故郷（ふるさと）で夢や希望をはぐくみ、未来を切り拓く児童・生徒

めざす子ども像

- ①意欲を持ち、学び続ける児童・生徒（知）
- ②思いやりにあふれ、ともに伸びる児童・生徒（徳）
- ③健やかな心と体をもった児童・生徒（体）
- ④ちがいを認め、命を大切にする児童・生徒（人権）
- ⑤ふるさとを愛し、つながりを大切にする児童・生徒（地域）

本年度の目標・推進の方向性

【目標】

・学力向上のための主体的、対話的な授業づくりに結びつく実践的な内容の研修を木幡中ブロック全体で行う。

【推進の方向性（重点）】

・3回の小中合同研修会での教科部会と連絡会を通して小中の系統的、継続的な連携を深める。
 ・特別支援教育の視点を生かした生徒指導の研修を継続して行う。
 ・各校のホームページを活用し、児童生徒、保護者、教職員、地域への啓発活動を進める。

本年度の取組（実施内容を見直した取組を含む）

- ・小学校・中学校で「家庭学習の手引き」を配付。
- ・年3回の小中合同研修会の実施。
- ・夏季の小中合同研修会では、特別支援教育をテーマとした講演による研修を実施。
- ・教職員の「宇治市アクションプラン・セカンドステージ」や「やましろ授業スタンダード」への理解の浸透と意識の向上。
- ・全教職員が、8つの教科部会または3つの連絡会に所属し、教科部会では実践交流、連絡会では現状や実践の交流を実施。
- ・小学校6年生の半日体験入学の実施。
- ・新入生保護者説明会の実施。
- ・ホームページに小中一貫教育の取組を掲載し、取組の啓発。
- ・各小学校の学校だよりを校内掲示。
- ・小学校6年生への春休みの課題の配付、中学校1年での回収。

本年度取り組むことができなかった計画について（簡条書き可）

・特になし

本年度の成果と課題

〈成果〉

- ・宇治市アクションプランへの理解を深め、小中の教職員が共通した目標を認識することができた。
- ・やましろ授業スタンダードをいかした授業実践の工夫を各教科部会で交流することができた。
- ・特別支援教育をテーマにした講演を通しての児童生徒理解を深めることができた。

〈課題〉

- ・家庭学習の定着の面では課題が見られる。
- ・保護者や地域に向けた小中一貫の取組の情報発信が不足していた。

次年度に向けて

- ・宇治市アクションプランセカンドステージに向けた、C層の底上げを意識した授業改善を行う。
- ・やましろ授業スタンダードをいかした授業実践の工夫を一層高めていく。
- ・小中合同研修等の機会をいかして、ブロック内の取組や現状の共有を図っていく。
- ・家庭学習の定着を推進する取組の検討や実施をしていく。
- ・保護者、地域等に向けた小中一貫の取組の情報発信を一層行っていく。

令和5年度 黄檗中学校ブロックジョイントプラン 活動総括図

－ 黄檗中・宇治小 －

教育目標・めざす子ども像

たかく すずしく たくましく

- ① 高い志を持って、学びの道を究める人（確かな学力）
- ② さわやかな心、優しい心を持った人（豊かな人間性・社会性）
- ③ 強い意志を持って、人生を切り開く人（意欲や情熱・健康な体）

本年度の目標・推進の方向性

- ・課題解決型学習を中心とした研究の推進
- ・課題解決型学習を手段とした認知能力と非認知能力の一体的な育成（小）
- ・教科等横断的な課題解決型学習による論理的思考力の育成（中）

本年度の取組（実施内容を見直した取組を含む）

- ・各教科、領域の学びをつなげる課題解決型学習の実施
- ・9年間の継続的な生徒指導を進めるための小中での課題の共有化
- ・育友会行事（子どもフェスティバル等）を中心に、地域とともにある学校づくりの構築
- ・学校運営協議会の計画的な開催、学校を取り巻く状況の確認・共有
- ・学園全体の取組の積極的な広報活動（ホームページ更新・メール配信等）
- ・各教科、クラブ活動等における学校ボランティアの活用

本年度取り組むことができなかった計画について（箇条書き可）

- ・児童生徒が意欲を持って取り組める家庭学習の実施と家庭学習状況の情報交流

本年度の成果と課題

【成果】

- ・課題解決型学習の推進を目指した研究部を組織し、小中それぞれの校種で、課題解決型学習を進めることができた。
- ・地域学校協働活動推進員（CSコーディネーター）と地域連携教員がこまめに連絡を取り合い、地域の方と一緒に児童生徒の成長を見守ることができた。

【課題】

- ・家庭学習について、小中合同で検討する機会を設けることができなかった。
- ・会議や総括を十分に行う時間確保ができなかった。
- ・生徒指導に、一貫性（9年間）を持たせることができなかった。

次年度に向けて

- ・課題解決型学習の推進を一層図るため、外部講師や外部資源を有効活用しながら、より実践を充実させる。
- ・充実した教育課程を編成・実践するために、地域学校協働活動推進員（CSコーディネーター）を積極的に活用する。
- ・生徒指導上の様々な課題の克服に向け、生徒指導の研修を引き続き継続していく。（生徒指導提要改訂）

令和5年度宇治市小中一貫教育推進協議会の活動報告

1 協議会の活動

小中一貫教育に関する取組全般の進行管理を行い、取組内容の点検確認とともに改善について意見の交換等を行う。

2 令和5年度の活動報告

(1) 協議会の開催

①第1回協議会 令和5年7月5日（水）

②第2回協議会 令和5年3月4日（月）

(2) 中学校ブロックの特色ある取組の視察

取組を視察し、その後現地にて交流・協議

	日 付	中学校ブロック 【視察校】	取組内容	視察委員
①	10月5日（木）	黄檗中ブロック 【黄檗中学校】	・赤ちゃん交流(中学校3年家庭科) NPO（子育てを楽しむ会）・社会福祉協議会協力のもと、赤ちゃんとその保護者と触れ合う取組。	西尾 委員
②	11月8日（水）	宇治中ブロック 【宇治中学校】	・宇治中体験入学（小学校6年生） 生徒会による学校紹介・クイズなど 授業体験・部活動見学等	上林 委員
		木幡中ブロック 【木幡中学校】	・新入生体験入学（小学校6年生） 生徒会による学校紹介 中1からの歓迎メッセージ 中1との交流・部活動見学	青木 委員
③	11月29日（水）	木幡中ブロック 【御蔵山小学校】	・三校交流 御蔵山小・笠取小・笠取第二小の3校の取組 交流授業と芸術鑑賞会	安田 委員
④	12月1日（金）	西小倉中ブロック 【西小倉小学校】	・ブロック合同授業研究会 小・中の教職員による西小倉小での公開授業・事後研修会	薮 副会長
⑤	12月8日（金）	広野中ブロック 【大久保小学校】	・中学生の小学生への読み聞かせ 広野中学校1年生による大久保小・大開小の1年生への紙芝居の読み聞かせの取組	榊原 会長 西川 委員 内田 委員 中井 委員

3 宇治市小中一貫教育に係る視察状況

(1) 木津川市教育委員会（部長、理事、課長、指導主事、校長、教務主任）

「宇治市の小中一貫教育及び小中一貫校についての視察」

日時 令和5年7月31日（月）

視察校 宇治黄檗学園

(2) 高知県佐川市教育委員会 佐川町教育研究所

「宇治市の小中一貫教育についての視察」（指導主事、所員、校長）

日時 令和5年12月4日（月）・5日（火）

視察校 宇治ひろの学園 大開小学校・広野中学校

※5日については、市教委で説明

令和6年度小中一貫教育到達目標（案）

子どもと子ども、子どもと教職員、教職員と教職員、地域と学校をつなぎ、
学びと育ちの絆が深まる宇治市の小中一貫教育

つながりとふれ合いの中で愛情や信頼を感じ、
たくましく、仲間と高め合う宇治市の子ども

令和6年度は、コロナ禍で培ったノウハウを活かしつつ、コロナ禍以前に各
中学校ブロックで進めてきた小中一貫教育の意義や取組の流れを丁寧に確認
し、小・中の教職員の共通理解のもと、(1)～(4)の考え方にに基づき、具体的な
取組を進めることとする。

(1) 9年間を見通した子どもの育ちと学びのつながり

重点

- ◆子どもにとって、より良い育ちの場をつくる
- ◆より良い学びとなるよう、子ども自身に見通しをもたせた教育活動を行う

〈具体的な取組〉

- 「効果のある宇治市方式を進めるアクションプラン」に基づく、学力調
査の結果分析、児童生徒の学力課題の把握・共有
- 市・府学力調査結果から、児童生徒の学力の伸びを分析・確認
- 児童生徒の学力課題改善に向けた授業改善
- 小中学校間での交流や授業などでのICTの活用、タブレット端末の効
果的な活用
- 小学校・中学校での授業参観・公開授業を含む合同授業研究
- 「小小連携」を通じた教員間での教育内容の共有
- 小学6年生の「中学校の学習・生活体験」「部活動体験・見学」を実施

(2) 連続性のある子ども理解と生徒指導

- ◆児童生徒を小中の教職員が相互に理解し、共通の姿勢で指導する
- ◆切れ目のない支援で子どもの育ちを支える

〈具体的な取組〉

- 児童生徒理解や支援に関わる部会の定期的な開催
- 小・中学校間の丁寧な引継ぎと一貫した指導・支援・対応
- 「総会」「合同研修会」でのブロックの児童生徒の実態交流や「各校の
授業参観」の実施
- 就学前施設を含む地域の関係機関との連携

(3) 指導や支援に磨きがかかる教職員の連携と協働

- ◆組織的に取り組む
- ◆ブロックの教職員の実践力を向上させる

〈具体的な取組〉

- 「ブロック校長会」「コーディネーター会議」等を定期的開催
- ブロック校長会の方針の下、ラーニングコーディネーターを要として、義務教育9年間の教育目標や課題を明確にした「ジョイントプラン」を策定
- 「小中合同研究」「授業参観（研究授業）」の開催
- 学力の定着と充実・向上を柱とした小中一貫教育の推進に向け、課題解決に向けた具体的な研究・研修
- 各中学校ブロックの実態に応じた専科教員等の活用
- 市全体での「ラーニングコーディネーター会議」の定期的な開催

(4) 家庭・学校・地域でつくる育ちの輪

- ◆地域、保護者とともに子どもの育ちを支える
- ◆地域が軸となり、小中学校、児童生徒をつなぐ

〈具体的な取組〉

- 児童生徒の実態に応じた「家庭学習の手引き」等の作成・活用
- 「小中一貫だより」の発行や「ホームページ」の活用による、小中一貫教育の様々な実践が、「見える取り組み」となるよう積極的な情報発信
- 保護者、地域からの意見や考えを積極的に収集し双方向型の取組を進めるための「アンケート」等の実施・活用
- 学校運営協議会や、地域団体への積極的なブロックの取組への参加・参観等の案内

令和 6 年度宇治市小中一貫教育推進協議会の活動について（案）

1 協議会の活動について

小中一貫教育に関する取組全般の進行管理を行い、取組内容の点検確認とともに改善点について意見の交換等を行う。

2 令和 6 年度の活動計画について

(1) 年 3 回の協議会開催（開催予定月）

交流・協議による進行管理

第 1 回協議会（7 月）〔年度当初進行管理〕

第 2 回協議会（9 月）〔12 年間の小中一貫教育について協議・検討〕

第 3 回協議会（3 月）〔年度末進行管理〕

※ 令和 6 年度は、本市 2 校目となる（仮）西小倉地域小中一貫校の開校に向けて 12 年間の小中一貫教育を整理し、取りまとめを行うため、年間 3 回の協議会を開催する。

※ 本協議会は必要に応じて会長が招集する。（本協議会設置要項第 6 条）

(2) 中学校ブロックの特色ある取組の視察

学校現場の取組視察による進行管理

中学校ブロックの取組を視察し、その後現地にて交流・協議を行う。

・視察受け入れ可能な取組を委員が選択し参加する。（2 学期の予定）

・学校と小中一貫教育推進協議会委員の交流・協議の場をもつ。
（管理職や小中一貫教育コーディネーター等に対応を依頼する。）

※ 事前に、中学校ブロックの特色ある取組（合同研修会・合同発表会等、小・中学校や CS 等地域と協働で行う取組）ならびに各小・中学校が実施する授業参観やオープンスクールなどの情報提供を行い、協議会委員参観の依頼を行う。

(3) プロジェクトチームの設置

必要事項の調査・研究

協議会の場でさらに深く調査、研究等を必要とする事項が生じた場合は、プロジェクトチームを設置する。

令和5年度「小中一貫教育についてのアンケート」実施概要

1 目的

小中一貫教育をはじめとした本市学校教育の推進及び今後の教育施策の参考に資するため、学校教育に関する児童生徒、保護者の意識や意向、学校の状況などについて把握するとともに、調査の結果をもとに改善に向けた取組を進める。

※「小中一貫教育についてのアンケート」については、教育の成果や課題が短期間では示せないものであることや、子どもたちを取り巻く環境が目まぐるしく変化していることなどを考慮し、経年比較すべき項目と、社会情勢の変化について確認すべき項目に分けて考え、実施していく。

2 対象

(1) 宇治市立全小学校 第6学年の全児童と保護者

(2) 宇治市立全中学校 第1学年の全生徒と保護者

(3) 宇治市立全中学校 第3学年の全生徒と保護者

※9年間を小中一貫教育で過ごした生徒及びその保護者の意識を把握するため、中学校第3学年の全生徒とその保護者も対象とする

(4) 宇治市立全小・中学校（小学校22校、中学校10校）

3 実施期間

令和5年 12月11日（月）から 令和6年 2月7日（水）まで

4 設問項目（各アンケート※にて記載）

(1) 「学びのつながり」について〔生徒・保護者・学校 各1項目〕

(2) 「子ども理解・生徒指導の連続性」について〔生徒2項目 保護者・学校 各1項目〕

(3) 「中学校進学への不安」について〔児童5項目・生徒4項目〕

(4) 「小中一貫教育のねらい・取組」について〔生徒・保護者・学校 各4項目〕

(5) 「地域とのつながり」について〔保護者・学校 各2項目〕

小中一貫教育アンケート①（6年児童用）

※設問項目（３）「中学校進学への不安」について５問

(1) 中学校生活への不安はありますか。

- ① ない ② ある

(2) その理由は何ですか。(3つまで。1つでも2つでもいいです。) 問(1)②と回答の場合

- ① 勉強が難しそう ② 定期テストが難しそう ③ 授業時間が長い(50分授業)
④ 教科によって先生が変わる ⑤ 新しい友達とうまくいくか
⑥先輩とうまくいくか ⑦部活動が始まる ⑧中学校での学校行事がある
⑨制服を着ることになる ⑩校則が厳しそう
⑪その他 ()

(3) 中学校入学までにどんな経験があると中学校生活への不安が小さくなると思いますか。
(いくつ選んでもいいです。)

- ① 中学校の学習や生活の説明を聞く
- ② 中学校の授業を体験する
- ③ 中学校の部活動を見学・体験する
- ④ 中学生が小学校へ行って交流する
- ⑤ 小学生が中学校へ行って交流する
- ⑥ 小学生と中学生がオンラインで交流する
- ⑦ 小学生が中学校の学校行事（体育大会等）を見学する
- ⑧ 児童会と生徒会で一緒になって活動する
- ⑨ 育友会・PTA 行事や地域の行事で小学生と中学生が交流する
- ⑩ 中学校ブロックの小中一貫だよりや中学校の学校だよりが配られる
- ⑪ 中学校のホームページを見る
- ⑫ その他（ ）

(4) 中学校生活が楽しみですか。

- ① 楽しみ ② 楽しみではない

(5) その理由は何ですか（3つまで。1つでも2つでもいいです。）問(4)の回答で分岐

- ① 新しい教科の勉強がある ② 教科によって先生が変わる
- ③ 新しい友達ができる（うまくいくか） ④先輩ができる（うまくいくか）
- ⑤ 部活動が始まる ⑥ 中学校での学校行事がある
- ⑦ 制服を着ることになる
- ⑧ その他 （ ）

小中一貫教育アンケート②（中1生徒用）

※設問項目（３）「中学校進学への不安」について４問

(1) 中学校入学前に中学校生活への不安はありましたか。

- ① なかった ② あった

(2) その理由は何でしたか。(3つまで。1つでも2つでもいいです。) 問(1)②と回答の場合

- ① 勉強が難しそう ② 定期テストが難しそう ③ 授業時間が長い(50分授業)
④ 教科によって先生が変わる ⑤ 新しい友達とうまくいくか
⑥先輩とうまくいくか ⑦部活動が始まる ⑧中学校での学校行事がある
⑨制服を着ることになる ⑩校則が厳しそう
⑪その他 ()

(3) 小学生の時に不安だったことが、中学生との交流や取組で小さくなったり、なくなったりしたことはありますか。

- ① ある ② ない

(4) 中学校生活への不安が小さくなったり、なくなったりしたのはどんな取組でしたか。

(いくつ選んでもいいです。) 問(3)①と回答の場合

中学校生活への不安を小さくしたり、なくしたりするのにどんな経験があるとよいと思いますか。(いくつ選んでもいいです。) 問(3)②と回答の場合

- ① 中学校の学習や生活の説明を聞く
- ② 中学校の授業を体験する
- ③ 中学校の部活動を見学・体験する
- ④ 中学生が小学校へ行って交流する
- ⑤ 小学生が中学校へ行って交流する
- ⑥ 小学生と中学生がオンラインで交流する
- ⑦ 小学生が中学校の学校行事（体育大会等）を見学する
- ⑧ 児童会と生徒会で一緒になって活動する
- ⑨ 育友会・PTA 行事や地域の行事で小学生と中学生が交流する
- ⑩ 中学校ブロックの小中一貫だよりや中学校の学校だよりが配られる
- ⑪ 中学校のホームページを見る
- ⑫ その他（ ）

小中一貫教育アンケート②（中3生徒用）

宇治市では、小学校入学から中学校卒業までの義務教育9年間を見通して、学習や学校生活などの教育活動を進める小中一貫教育を実施しています。

これまでの小・中学校生活をふり返り、次の質問に答えてください。

- (1) 義務教育9年間を通じて、授業では、前の学年で学習した内容をふまえて進められていましたか。 ※設問項目 (1)「学びのつながり」について

- ① そう思う ② だいたいそう思う ③ あまりそう思わない
④ そう思わない ⑤ わからない

- (2) 義務教育9年間を通じて、学校の先生は、あなたのことを分かってくれていると感じることがありましたか。 ※設問項目(2)「子ども理解・生徒指導の連続性」について

- ① そう思う ② だいたいそう思う ③ あまりそう思わない
④ そう思わない ⑤ わからない

- (3) 義務教育 9 年間を通じて、安心して学校生活を送れましたか。

- ※設問項目(2)「子ども理解・生徒指導の連続性」について

- ① そう思う ② だいたいそう思う ③ あまりそう思わない
④ そう思わない ⑤ わからない

- (4) 小学生と中学生の交流活動を行うことはよいことだと思いますか。

- ※設問項目（４）「小中一貫教育のねらい・取組」について

- ① そう思う ② だいたいそう思う ③ あまりそう思わない
④ そう思わない ⑤ わからない

- (5) どんな取組がよかったと思いますか。(いくつ選んでもいいです。) 問(4)①②と回答

- ※設問項目（４）「小中一貫教育のねらい・取組」について

- ① 小学生が中学校の学習や生活の説明を聞く
- ② 小学生が中学校の授業を体験する
- ③ 小学生が中学校の部活動を見学・体験する
- ④ 中学生が小学校へ行って交流する
- ⑤ 小学生が中学校へ行って交流する
- ⑥ 小学生と中学生がオンラインで交流する
- ⑦ 小学生が中学校の学校行事（体育大会等）を見学する
- ⑧ 児童会と生徒会で一緒になって活動する
- ⑨ 育友会・PTA 行事や地域の行事で小学生と中学生が交流する
- ⑩ 中学校ブロックの小中一貫だよりや中学校の学校だよりが配られる
- ⑪ 中学校のホームページを見る
- ⑫ その他（ ）

(6) 小学生との交流活動を通して、中学生としての自信や自覚を持つことができましたか。

※設問項目(4)「小中一貫教育のねらい・取組」について

- ① そう思う ② だいたいそう思う ③ あまりそう思わない
④ そう思わない ⑤ わからない

(7) 宇治市では、義務教育9年間を通して小学校と中学校のつながりを大切にした教育（小中一貫教育）を進めています。

このような小中一貫教育は、あなたの成長につながりましたか。

※設問項目(4)「小中一貫教育のねらい・取組」について

- ① そう思う ② だいたいそう思う ③ あまりそう思わない
④ そう思わない ⑤ わからない

小中一貫教育アンケート③（小学校保護者用）

お子さんの学校について、次の(1)～(5)について最も近いものを1つずつ選んでください。

- (1) 小学校では、5年生までの学びをふまえて、6年生の学習指導をしていると思いますか。

※設問項目 (1)「学びのつながり」について

そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう思わない	わからない
------	--------------	---------------	--------	-------

- (2) 小学校の先生は、学年を問わず、子どもとかかわりをもっていると思いますか。

※設問項目 (2)「子ども理解・生徒指導の連続性」について

そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう思わない	わからない
------	--------------	---------------	--------	-------

- (3) 小学校の教育活動への、地域の方の参加があると思いますか。

※設問項目 (5)「地域とのつながり」について

そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう思わない	わからない
------	--------------	---------------	--------	-------

- (4) 小学校と校区の中学校の交流活動が行われていると思いますか。

※設問項目 (4)「小中一貫教育のねらい・取組」について

そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう思わない	わからない
------	--------------	---------------	--------	-------

- (5) 地域での集まりや育友会・PTA行事等で、地域の小学生と中学生がいっしょに活動していると思いますか。

※設問項目 (5)「地域とのつながり」について

そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう思わない	わからない
------	--------------	---------------	--------	-------

小中一貫教育に関して、次の(1)～(4)について最も近いものを1つずつ選んでください。

※設問項目 (4)「小中一貫教育のねらい・取組」について4問

(1) 小中一貫教育は、子どもにとってよいことだと思いますか。

そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう思わない	わからない
------	--------------	---------------	--------	-------

(2) 小学生と中学生の交流活動を行うことはよいことだと思いますか。

そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう思わない	わからない
------	--------------	---------------	--------	-------

(3) 小中一貫教育の取組について広報されていると思いますか。

そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう思わない	わからない
------	--------------	---------------	--------	-------

(4) 小中一貫教育についてご意見をお聞かせください。

自由記述 ()

小中一貫教育アンケート④（中学校保護者用）

お子さんの学校について、次の(1)～(5)について最も近いものを1つずつ選んでください。

- (1) 中学校では、小学校での学びをふまえて学習指導していると思いますか。

※設問項目 (1)「学びのつながり」について

そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう思わない	わからない
------	--------------	---------------	--------	-------

- (2) 中学校の先生は、学年を問わず、子どもとかかわりをもっていると思いますか。

※設問項目 (2)「子ども理解・生徒指導の連続性」について

そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう思わない	わからない
------	--------------	---------------	--------	-------

- (3) 中学校の教育活動への、地域の方の参加があると思いますか。

※設問項目 (5)「地域とのつながり」について

そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう思わない	わからない
------	--------------	---------------	--------	-------

- (4) 中学校と校区の小学校の交流活動が行われていると思いますか。

※設問項目 (4)「小中一貫教育のねらい・取組」について

そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう思わない	わからない
------	--------------	---------------	--------	-------

- (5) 地域での集まりや育友会・PTA行事等で、地域の中学生と小学生がいっしょに活動していると思いますか。

※設問項目 (5)「地域とのつながり」について

そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう思わない	わからない
------	--------------	---------------	--------	-------

小中一貫教育に関して、次の(1)～(4)について最も近いものを1つずつ選んでください。

※設問項目 (4)「小中一貫教育のねらい・取組」について4問

(1) 小中一貫教育は、子どもにとってよいことだと思いますか。

そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう思わない	わからない
------	--------------	---------------	--------	-------

(2) 小学生と中学生の交流活動を行うことはよいことだと思いますか。

そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう思わない	わからない
------	--------------	---------------	--------	-------

(3) 小中一貫教育の取組について広報されていると思いますか。

そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう思わない	わからない
------	--------------	---------------	--------	-------

(4) 小中一貫教育についてご意見をお聞かせください。

自由記述 ()

小中一貫教育アンケート⑤（学校用）

学校名を選んでください。（ ○○小学校 ・ ◇◇中学校 ）

次の1～8の各問いについて、最も近いと思われるものを1つ選んでください。

- 1 下学年での学びをふまえて学習指導することで、児童・生徒の学力の定着がみられる。

※設問項目（1）

思う
 思う
 思う
 思う
 思う

- 2 中学校ブロックで児童・生徒の情報を共有することが、子どもの理解や切れ目のない支援につながっている。

※設問項目（2）

思う
 思う
 思う
 思う
 思う

- 3 地域と関わる教育活動により、児童・生徒の豊かな人間性が育まれている。

※設問項目（5）

思う
 思う
 思う
 思う
 思う

- 4 小中一貫教育を通して、児童・生徒間の交流が深まっている。

※設問項目（4）

思う
 思う
 思う
 思う
 思う

- 5 小中一貫教育を通して、小学校と中学校の教職員間の連携が深まっている。

※設問項目（4）

思う
 思う
 思う
 思う
 思う

- 6 中学校ブロックを単位とした取組で、地域と保護者の連携が深まっている。

※設問項目（5）

思う
 思う
 思う
 思う
 思う

- 7 中学校ブロックで合同研修会を実施することで、教員の指導力向上がみられる。

※設問項目（4）

思う
 思う
 思う
 思う
 思う

- 8 小中一貫教育により、子どもが落ち着いて学校生活を送ることができている。

※設問項目（4）

思う
 思う
 思う
 思う
 思う